

平成 29 年度

# 県民ニーズ調査

---

## 基本調査

県民の生活と県政についての意識調査

## 課題調査

「環境に配慮した生活」「生物多様性」「神奈川県の農業」  
「食の安全・安心」「食・食育」「スポーツ」  
「東京 2020 大会に向けた取組」「神奈川の文化芸術」  
「県立都市公園」「かながわの広報」  
「ヘルスケア ICT の取組」「がん・肝炎対策」  
「『未病改善』の取組」「人生 100 歳時代の設計図」  
「ともに生きる社会かながわ」「『手話』への興味・関心」  
「配偶者等からの暴力」「治安対策」「地震対策の取組」  
についての意識調査

平成 30 年 3 月



## はじめに

神奈川県では、県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を施策に反映することにより、県民参加の行政を一層推進するため、毎年度「県民ニーズ調査」を実施しています。

県民ニーズ調査は、県民の生活や県政についての意識を継続的に調査している「基本調査」と、時宜に応じたテーマについて調査する「課題調査」があります。本報告書は、平成29年8月から9月にかけて実施した「基本調査」及び、10月に19のテーマについて実施した「課題調査」の結果をまとめたものです。

この報告書が、行政担当者のみならず、広く県民生活の現状と将来に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

おわりに、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成 30 年 3 月

神奈川県県民局長



## 目次

県民ニーズ調査の概要	1
------------	---

### 基本調査

第Ⅰ部 調査の概要	3
-----------	---

1 調査の目的	5
2 調査内容	5
3 調査設計	5
4 回収結果	5
5 標本の抽出方法について	6
6 集計・分析にあたって	7
7 調査結果の誤差	8
8 回答者の属性	9

第Ⅱ部 調査結果の概要	11
-------------	----

第Ⅲ部 調査結果の詳細	17
-------------	----

第1章 暮らし全般について	19
1 生活総合満足度	19
2 暮らし向きの変化	22
3 今後の暮らし向きの見通し	29
4 地域の住みよさ	32
5 定住意向	35
第2章 生活意識	38
1 安全・安心	43
2 健康・福祉	48
3 エネルギー・環境	56
4 県民生活	61
5 教育・子育て	70
6 産業	79
7 県土・まちづくり	82
第3章 暮らしの満足度	87
1 生活重要度	87
2 生活満足度	94
第4章 県行政への要望	105

第Ⅳ部 県政への自由意見	109
--------------	-----

第Ⅴ部	グラフと集計表（くらしの満足度、県行政への要望）	131
	生活重要度－過去との比較（図表A）	133
	－地域別、性・年代別（図表B）	145
	生活満足度－過去との比較（図表C）	157
	－地域別、性・年代別（図表D）	169
	県行政への要望－過去との比較（図表E）	181
	－地域別、性・年代別（図表F）	182
第Ⅵ部	調査票と単純集計結果	185

## 課題調査

第Ⅰ部	調査の概要	199
1	調査の目的	201
2	調査内容	201
3	調査設計	201
4	回収結果	201
5	標本の抽出方法について	202
6	集計・分析にあたって	203
7	調査結果の誤差	204
8	回答者の属性	205
第Ⅱ部	調査結果の概要	207
第Ⅲ部	調査結果の詳細	227
第1章	環境に配慮した生活	229
1	再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望	229
2	環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望	231
3	環境問題の情報収集の有無	233
4	NPO等が行っている環境保全活動への参加希望	235
5	企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献	237
第2章	生物多様性	239
1	「生物多様性」の言葉の意味の認知度	239
2	多種多様な生物が生息できる環境の保全への意識	241
3	神奈川県における生物多様性の保全の取組で重要なもの	243
4	生物多様性を知る、または行動する機会として参加したいと思う取組	245
第3章	神奈川県の農業	247
1	地元産の農作物の購入意向	247
2	将来の神奈川県の農業に対する考え	249
3	神奈川県の農業に期待する役割	251

第4章 食の安全・安心	253
1 普段食べている食品の安全性	253
2 普段食べている食品が安全だと思う理由	255
3 食の安全・安心に関することからで関心のあるもの	257
4 食の安全・安心に関する情報をの入手先	259
第5章 食・食育	261
1 食育への関心	261
2 健康的な食事内容の心がけへの意識	263
3 就寝前に食事をとらないことへの意識	265
4 朝食を同居の人と食べる頻度	267
5 夕食を同居の人と食べる頻度	269
6 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度	271
7 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度	273
8 ゆっくりよく噛んで食べることへの意識	275
9 歯と口の健康を保つために気をつけていること	277
10 食事のマナーを正しくできていることへの意識	279
11 食品の安全性に関する知識	281
12 食べ物を無駄にしないことへの意識	283
13 農林水産業の作業体験	285
14 農林水産業を体験することへの関心	287
第6章 スポーツ	289
1 自身の体力観	289
2 1年間のスポーツ実施日数	291
3 「3033（サマルソソ）運動」の認知度	293
4 「かながわパラスポーツ」の認知度	295
5 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度	297
6 ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることの認知度	299
7 横浜市で開催されるラグビーワールドカップの観戦意向	301
第7章 東京2020大会に向けた取組	303
1 東京2020大会への関心	303
2 セーリング競技への興味・関心	305
3 セーリング競技の観戦意向	307
4 東京2020大会やセーリング競技に関するイベントへの参加意向	309
5 東京2020大会やセーリング競技に関する情報の入手先	311
第8章 神奈川の文化芸術	313
1 最近1年間の鑑賞状況と今後の鑑賞意向	313
2 文化芸術を鑑賞した主な地域	327
3 現在活動している・今後活動したい文化芸術活動	329

4	文化芸術活動する際の不満や不便	343
第9章	県立都市公園	345
1	県立都市公園の公園施設に関する満足度	345
2	県立都市公園の活性化・賑わいを創出するための取組	347
3	県立都市公園に欲しい公園施設	349
4	県立都市公園における有料公園施設の導入について	351
第10章	かながわの広報	353
1	県の広報の達成度	353
2	県の広報媒体の認知度	355
3	神奈川県の情報の手先	357
4	今後力を入れたほうがよいと思う広報の方法	359
第11章	ヘルスケア I C T の取組	361
1	自身の健康への関心	361
2	「マイ ME-BY0 カルテ」の認知度	363
3	見える化・データ化してほしい健康情報	365
4	健康の維持・改善に向けたサービス	367
第12章	がん・肝炎対策	369
1	「がん検診」受診状況	369
2	「がん検診」を受診しない理由	371
3	ウイルス性肝炎の認知度	373
4	「肝炎ウイルス検査」の受診状況	375
5	「肝炎ウイルス検査」を受診しない理由	377
第13章	「未病改善」の取組	379
1	「未病改善」の取組の重要度	379
2	「未病改善」の取組の実践	381
3	「未病改善」の取組を始めたきっかけ	383
4	「未病改善」の取組をしていない理由	385
第14章	人生 100 歳時代の設計図	387
1	人生設計の有無	387
2	人生設計を考えていない理由	389
3	人生設計を考えるきっかけ	391
4	退職後や 65 歳以降の人生で不安に思うこと	393
5	退職後や 65 歳以降の人生でやりたいこと	395
6	退職後や 65 歳以降の就労の希望	397
7	退職後や 65 歳以降の就労の目的	399
8	地域活動への参加頻度	401
9	地域活動の参加の妨げとなる理由	403
10	地域活動に参加するための支援やきっかけ	405



11	自己の充実やキャリア開発を目的とした講座等の受講状況	407
12	自己の充実やキャリア開発を目的とした講座等を受講するきっかけ	409
第15章	ともに生きる社会かながわ	411
1	ともに生きる社会かながわ憲章の認知度	411
2	ともに生きる社会かながわ推進週間の認知度	413
3	ともに生きる社会かながわ推進週間を知った広報の方法	415
4	身近で障がい者と接する機会	417
5	障がい者への差別・偏見の有無	419
6	障がい者に配慮した行動をとる人	421
第16章	「手話」への興味・関心	423
1	手話への関心	423
2	手話に関心を持ったきっかけ	425
3	手話を学ぶきっかけ	427
4	希望する手話の学習方法	429
第17章	配偶者等からの暴力	431
1	夫婦間での行為における暴力としての認識	431
2	配偶者等からの暴力（DV）について知っていたこと	438
第18章	治安対策	440
1	不安を感じる犯罪	440
2	身近な治安に関して最も安心感を抱くとき	442
3	犯罪被害の不安を感じる場所	444
4	犯罪発生情報や防犯に役立つ情報を得やすい方法	446
5	交通事故のない社会を目指すために重要だと思うもの	448
6	高齢者の交通事故を抑止するために重要だと思うもの	450
7	安心して暮らすために最も重要だと思うもの	452
第19章	地震対策の取組	454
1	大きな地震に備えた対策	454
2	家具・家電などの転倒・落下・移動防止対策の程度	456
3	家具・家電などの転倒・落下・移動防止対策ができていない理由	458
4	感震ブレーカー等の認知度	460
5	食糧や飲料水の備蓄量	462
6	海岸で地震による強い揺れを感じたときの行動	464
7	津波に関する知識	466
第IV部	調査テーマへの自由意見	473
第V部	調査票と単純集計結果	481



## 県民ニーズ調査の概要

### 1 調査の目的

県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を県の施策に反映するために意識調査を行う。併せて、調査を通じ、県民の県政に対する理解と関心を深める。

### 2 調査内容

県民の生活や意識の変化等を把握するための「基本調査」を継続して実施した。また、県政の直面する重要課題や県民生活に関する中・長期的な課題をテーマに「課題調査」を実施した。

#### (1) 基本調査

- ア 暮らし全般
- イ 生活意識
- ウ 暮らしの満足度
- エ 県行政への要望

#### (2) 課題調査

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ア 環境に配慮した生活        | サ ヘルスケア ICT の取組  |
| イ 生物多様性            | シ がん・肝炎対策        |
| ウ 神奈川県農業           | ス 「未病改善」の取組      |
| エ 食の安全・安心          | セ 人生 100 歳時代の設計図 |
| オ 食・食育             | ソ ともに生きる社会かながわ   |
| カ スポーツ             | タ 「手話」への興味・関心    |
| キ 東京 2020 大会に向けた取組 | チ 配偶者等からの暴力      |
| ク 神奈川の文化芸術         | ツ 治安対策           |
| ケ 県立都市公園           | テ 地震対策の取組        |
| コ かながわの広報          |                  |

### 3 調査設計

- |            |                               |
|------------|-------------------------------|
| (1) 調査地域   | 神奈川県全域                        |
| (2) 調査対象   | 県内在住の満 18 歳以上の男女              |
| (3) 標本数    | 「基本調査」3,000 標本、「課題調査」3,000 標本 |
| (4) 標本抽出方法 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出            |
| (5) 調査回数   | 「基本調査」1 回、「課題調査」1 回           |
| (6) 調査時期   | 「基本調査」8～9 月、「課題調査」10 月        |

### 4 調査方法

郵送による配布及び回収

